

H.25

四月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

人の悪い事は見えるが、自分の悪い所は見えない

人間の目と耳は、外のものを見聞きし・判断するから、他人の欠点などはよく分かり・気になります。が、自分の事となると、なかなか事實を受け止められないのではないかですか。顔に墨が付いていて注意されると感謝するが、『貴方は根性が悪い』などと言われると、腹を立てたりします。自分が本当に悪いと思つた時は、顔を鏡に映して見るよう、教え（仏法）を鏡にして心を見つめ・素直に人の意見を聞くべきでしょう。が、自分の悪い事には気づかないか・認めたくないのが人間です。

お釈迦様は『鎧は鉄から出て鐵自身を滅ぼす』と説かれました。仏法を無視する人は、鏡を持たない人間のように、本当の自分の姿が見えなくなり・必ず自惚れてしまします。自分を『罪惡深重の凡夫』『罪深い人間』として、仏様の前に伏し、素直に自己の欠点・無力を認め『懺悔』した者のみが他者と許し合える関係を築けるのではないでしようか。